



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1995, 64(3):  
356-357

ISSUE DATE:

1995-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/95546>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成7年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第64巻 第3号

ISSN 0525-2997

**vol.64 no.3**

# 物性研究

**1995 / 6**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **63** (1994), 1. のように引用して下さい。

### 原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**  
ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
  - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
  - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
  - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
  - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
  - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
  - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
  - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
  - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（ $\square$ ）、イタリック（*—*）、ゴシック（**—**）、ギリシャ文字（ $\alpha$ ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
  - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

## 編集後記

5月の黄金週間から5月末の現在まで、新聞、テレビはオウム一色であった。私たちにとって、身近な大学の教え子や先輩・後輩である最先端の研究者の関与する重大事件であるだけにいっそう無視し得ないものである。科学者が何故超能力で空中浮揚が可能と考えるのであろうか。そう信じていないとしても、その不合理さに嫌悪しないのだろうか。物理法則は単にペーパーテストの為のものであって、現実の自分の立っている世界のことでないと考えていたのであろうか。人間の肉体を離れて精神や魂が存在すると考えているのだろうか。

科学は神秘や奇跡、超能力、迷信、等々と命をかけた闘争の末に勝ち取られたものである。ガリレオの落体の法則やニュートンの万有引力の法則は歴史の試練を経た法則なのである。万一、成立しないように見えるときは必ず科学的な理由を発見できたのである。これは我々科学者の信念であり、研究の原動力ではなかったのか。いかに修行を積んだとは言え、科学的な根拠なしに空中を浮揚できる人が現れたりすると、科学は成立しないのである。何故なら、常に神や超能力者の意志が働いていないことを確認する事なしに、自然の法則について語ることができなくなってしまうからである。いかにこれまでの科学で理解しがたい現象に直面したとしても原因が科学的に発見しうることだけは疑うことができない。これは自然法則が人間の精神から独立に存在し、逆に精神活動が人間の肉体や脳という物質の運動にその基礎を持つからである。

私達はまた科学の目的や社会的な役割を軽視してきたのではなかったか。科学は社会的なものであって、私的な趣味に解消する事は許されない。個人の貢献がいかに高くとも歴史を離れて、多くの先人達の苦悩に満ちた努力を軽蔑したり、無視したりする事はできない。現在の発見は先人達の苦勞の蓄積の上に成熟したものであり、偶然現在の我々がその果実を手にする幸運に恵まれたのである。全てを私的なものに解消し、学会賞などを研究の励みにするような貧困な精神こそ科学に対する真の愛情と責任を曖昧にしてきたのではなかったか。我々は科学を発展させることよりも、発展させることの意義、目的についてもっと考えるべきではなかったのか。学校が自殺の原因となるような、いじめを始めとする教育の荒廃を見ると、確かに我々は何時からか間違った道を歩んでいたのではなかったのか。

私は連休明けに淡々と授業を始めることができなかった。どんなに試験のできが悪くても科学の危険性を知る人の方が、サリンを作ったり、撒いたりし、奇跡を信じる人よりは科学者として尊いと考えざるをえないからである。我々はこれまで学生に何を教えてきたのか、もっとも基本的なことを教えず、学生の迷いや悩みに無知であったのではなかったか。

オウムは突然、鮮やかに我々の社会の誤りを、さらにその容易ならざる深刻さを白日の下にさらした。京大の高名な元教授も例外でない。ノーベル賞や権威を崇拝する者は人権を踏みにじり、人命さえも軽視していることに気付かないのである。

(K. Y.)

[物性研究]

発行人	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集長	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集委員	池田 隆介	(京大・理・物理)
	小嶋 泉	(京大・数研)
	川上 則雄	(京大・基研) [~5月]
	関本 謙	(京大・基研) [6月~]
	武末 真二	(京大・総合人間)
	水口 毅	(京大・理・物理)
	八尾 誠	(京大・理・物理)
	山田 耕作	(京大・理・物理)
	吉村 一良	(京大・理・化学)
各地編集委員	津田 一郎	(北大・理・数学)
	早川 尚男	(東北大・理・物理)
	河野 浩	(東大・理・物理)
	金子 邦彦	(東大・教養・基礎科第一)
	初貝 安弘	(東大・工・物理工学)
	田崎 晴明	(学習院大・理・物理)
	平田 隆幸	(筑波大・物理工学系)
	山田 鏑二	(信州大・理・物理)
	大野 義章	(名大・理・物理)
	池田 研介	(立命館大・理工・物理)
	宮下 精二	(阪大・理・宇宙地球)
	末崎 幸生	(佐賀医科大・物理)
	小田垣 孝	(九大・理・物理)
	松田 博嗣	(九大・名誉教授)

(1995年6月現在)

---

物 性 研 究 第64巻第3号 (平成7年6月号) 1995年6月20日発行

発行人	村瀬 雅俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交差点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

---

[物性研究]

発行人	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集長	村瀬 雅俊	(京大・基研)
編集委員	池田 隆介	(京大・理・物理)
	小嶋 泉	(京大・数研)
	川上 則雄	(京大・基研) [~5月]
	関本 謙	(京大・基研) [6月~]
	武末 真二	(京大・総合人間)
	水口 毅	(京大・理・物理)
	八尾 誠	(京大・理・物理)
	山田 耕作	(京大・理・物理)
	吉村 一良	(京大・理・化学)
各地編集委員	津田 一郎	(北大・理・数学)
	早川 尚男	(東北大・理・物理)
	河野 浩	(東大・理・物理)
	金子 邦彦	(東大・教養・基礎科第一)
	初貝 安弘	(東大・工・物理工学)
	田崎 晴明	(学習院大・理・物理)
	平田 隆幸	(筑波大・物理工学系)
	山田 鏑二	(信州大・理・物理)
	大野 義章	(名大・理・物理)
	池田 研介	(立命館大・理工・物理)
	宮下 精二	(阪大・理・宇宙地球)
	末崎 幸生	(佐賀医科大・物理)
	小田垣 孝	(九大・理・物理)
	松田 博嗣	(九大・名誉教授)

(1995年6月現在)

---

物 性 研 究 第64巻第3号 (平成7年6月号) 1995年6月20日発行

発行人	村瀬 雅俊	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交差点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200円		

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

<b>年会費</b>	1st Volume (4月号～9月号)	<b>4,800円</b>
	2nd Volume (10月号～3月号)	<b>4,800円</b>
		<b>計 9,600円</b>

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **京都 01010-6-5312**

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。**

### 物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内  
電話 (075) 722-3540, 753-7051  
FAX (075) 722-6339

## 物性研究 64-3 (6月号) 目次

### ○講義ノート

「エルゴード的古典力学系における相関関数のふるまい

—非平衡統計力学の視点から—」……………田崎 秀一…… 199

○2次元写像と複素力学系……………田中 昌昭、阿部 利則、川部 健…… 259

### ○修士論文 (1994年度)

2次元超伝導体における磁場印加超伝導絶縁体転移

……………小久保 伸人…… 282

Ce化合物における四重極応答の研究 ……………根本 祐一…… 308

○編集後記…………… 356



## 物 性 研 究 64-3 (6月号) 目 次

### ○講義ノート

「エルゴード的古典力学系における相関関数のふるまい

—非平衡統計力学の視点から—」……………田崎 秀一………… 199

○2次元写像と複素力学系……………田中 昌昭、阿部 利則、川部 健………… 259

### ○修士論文 (1994年度)

2次元超伝導体における磁場印加超伝導絶縁体転移

……………小久保 伸人………… 282

Ce化合物における四重極応答の研究……………根本 祐一………… 308

○編集後記…………… 356